

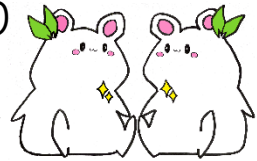
令和5年9月4日



光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

<https://www.nerima-kyo.ed.jp/hikarigaoka2-j/>



夏と言えば・・・

校長 山田 美鈴

今年の夏はコロナウイルスによる制限がなかったので、久しぶりに長い夏休みを満喫できたのではないのでしょうか。今も決して安心できる状況ではありませんが、通常の活動を存分に行なえることが、どれほど大切なことなのかを改めて実感した夏となりました。

1年生は中学校生活初めての宿泊行事「イングリッシュキャンプ」を成功裏に終え、真の中学生としての顔立ちになりました。また部活動では普段なかなか取り組めない活動に集中して取り組み、どの部も実りの秋にその成果を発揮してくれることと期待しています。3年生は卒業後の進路決定に向けた特別の夏を過ごしたことと思いますが、「夏を制する者は受験を制す」と言われる通り、各自の目標に向かって挑戦の夏となったことでしょう。（個々にはこれからゆっくり聞いてみたいと思います・・・。）

さて「夏の風物詩」の一つ、全国高校野球選手権大会が今年も甲子園で開催されました。舞台となっている甲子園球場は、内野は土で外野は天然芝のグラウンド。雨が降ると内野に大きなシートが敷かれ、上がったかと思うものの数十分で試合が再開されます。毎年甲子園球児たちが日頃の練習成果を存分に発揮できるよう、グラウンドキーパーが細やかな整備を行なっています。これぞ専門職のプライドです。年に1度グラウンド全面25cmほど土を掘り返す「天地返し」という作業を行なうことによって、雨などで流された分の土を補い、開場当初である90年前からの土を用い続けているそうです。現グラウンドキーパーは「先人たちが試行錯誤を重ねながら野球場にふさわしい土を作り、自分たちがそれを継承している」と語っています（書：「阪神園芸甲子園の神整備」毎日文庫）。大会期間中、残念ながら試合に敗れた選手たちが、ベンチ前の土を集めて持ち帰る姿は、昔からの光景です。

チーム一丸となって白球を追いかける雄姿は、昔も今も同じです。勝敗という結果はありますが、グラウンドで戦う選手だけでなく、全力で応援し続けるスタンドの部員たちの姿を見ていると、自然と感動の涙でいっぱいになります。

一方以前とは異なってきた部分もありました。高校球児たちの髪形がその1つです。校則の見直しなどの流れにより、丸刈りではない髪形のチームもありましたが、決して逸脱した変形ではなく、ごく自然なもので違和感はありません。様々な困難を乗り越えて甲子園という大舞台に挑んだ高校球児。それを支えるかげ役者。「不易流行」という言葉通りいつまでも変わってはならない本質的なものと、新しく柔軟に変化していくものとの調和を、夏の高校野球の熱戦を通して、感じさせられました。

さて、夏休みは終わりました。行事多彩な2学期、生徒の活躍を期待しています！



～ 生徒の活躍 ～

- *全校中学生レスリング選手権大会 沼尻 直 杯 最優秀選手賞 3年生徒
- *2023レスリング アジア大会 U15 第3位 3年生徒
- *全国中学生（湯島天満宮）かるた大会 2年生一般の部 第3位 2年生徒
- *サッカー部 2023小金井招待フェスティバル 第3位

1年生イングリッシュキャンプ（バルデ軽井沢） 7月29～31日（2泊3日）



春小フェスタ ボランティア 7月22日（土） 光が丘春の風小学校



本校生徒41名が「春小フェスタ」のボランティアスタッフとして大活躍していました。

参加者にはボランティア参加証をお渡ししました。

光が丘地区生徒会サミット 7月28日（金） 本校会場

光が丘地区3校の中学校生徒会役員が本校に集まり、各校の活動の様子や意見交換などを行いました。3校で協力し合える活動などについても、前向きに話し合うことができました。



～ 秋の主な校外行事 ～

- 9月16日（土） 区陸上競技大会 区総合グラウンド ジョギング部員
- 9月16日（土） 区英語学芸会 生涯学習センター 英語部員
- 9月18日（祝・月）～20日（水） 修学旅行（関西方面） 3年生全員
- 10月5日（木）・6日（金） 職場体験 各事業所 2年生全員
- 10月6日（金） 校外学習（川越方面） 1年生全員
- 10月31日（火） 合唱コンクール 光が丘 IMA ホール 全学年生徒

